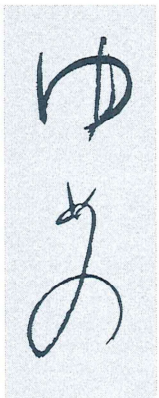
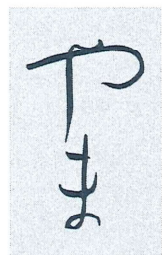
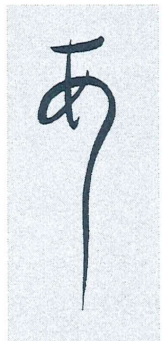


問一 次は『高野切第三種』にみられる連綿です。正しく軽快に臨書しなさい。

※臨書…古典の字形や線などの特徴を捉えて書くこと



問二 次の文章を、漢字は行書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

自分の生活の明るい面をより強く、暗い面はあまり見ないすべを私は覚えていた。なくて困っているものよりも、現に享受しているものを考えるくせがついていた。こういう考え方がどんなにしみじみとした深い慰めを私に与えてくれたかは、はかり知れないものがあつた。

(ダニエル・デフォーの文章より)

問三 次の文章を、漢字は楷書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

むしろ危険は、当然なすんぎ懷疑をなさないで漠然たる不安の中に生きていることである。我々は無用な不安の中に生くんぎではない。しつかりした中核的思想を抱いて、価値ある懷疑をしなければいけない。それによつてのみ問題を解決し、進歩してゆくことができる。

(スピノザの文章より)

問四 次の『蘭亭序』を、解答欄の大きさにあわせて調和よく臨書しなさい。

※臨書…古典の字形や線などの特徴を捉えて書くこと

是日也天朗氣清

是

(是日也天朗氣清)

問五 次の平仮名、片仮名の字源(平仮名、片仮名のできるもとの漢字)を、楷書で書きなさい。

うみのいろ
アカネソラ